



西野正人

ハッキリ言います! 市政にひとこと!



連絡先/〒191-0011 日野市日野本町6-9-1 TEL 042-582-4381/FAX 042-582-2866

HP: <http://www.nishino1.com/> E-mail: nishino@eco.ocn.ne.jp

■令和元年6月議会審議された主な内容を裏面にて、表面では視察に伺った八王子児童相談所の内容をご報告いたします。

近年、耳を疑いたくなるような児童虐待のニュースがたびたび飛び込んできます。そこで日野市の現状を確認するため、児童虐待の最前線である八王子児童相談所に視察に伺いました。



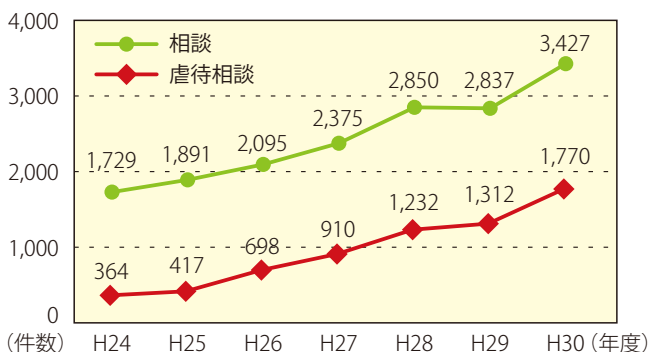
日野市の子供達を虐待から守ろう!



八王子児童相談所

東京都内では計11の児童相談所が設置されており、都民の相談に応じています。日野市を担当しているのは八王子児童相談所で、日野市・八王子・町田市の三市を受け持っています。八王子児童相談所の職員は常勤77名・非常勤24名の合計101名で、私の視察の第一印象は人員が充実していると感じました。しかし、職員の方のご説明を伺うと、三市の人口の合計は117万6,587人のほり、急増する相談件数に対して手一杯の状態とのこと。まずは、八王子児童相談所に持ち込まれている相談の状況についてご説明いたします。

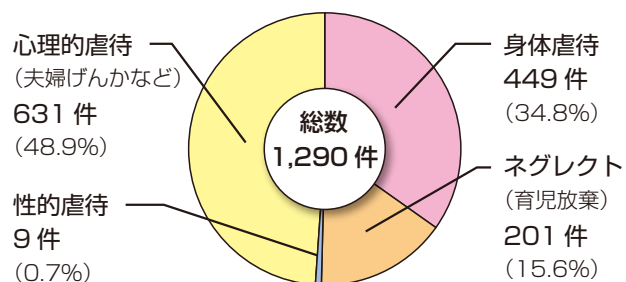
■八王子児童相談所での相談受理件数と虐待相談受理件数の推移



左のグラフの緑線は、八王子児童相談所が受理した相談件数の推移です。平成24年度では1,729件でしたが、平成30年度では3,427件と6年間でおよそ2倍にまで急増しています。八王子児童相談所の管轄である八王子市・日野市・町田市の相談件数の割合を平成29年度で見ると、50%・15%・35%とほぼ人口比に対応しています。また、相談のうち虐待相談の件数は左グラフの赤線に示す通り、平成24年度で364件であったものが平成30年度では1,770件と約4.8倍にも及んでいます。また、相談に占める虐待に関する相談の割合も平成24年度では21%であったのが、平成30年度には51.6%となり、子供達への虐待が急増しています。



■虐待相談対応状況内訳 (平成29年度)



虐待相談を受け、八王子児童相談所が対応した状況の内訳を示したものが左の円グラフです。平成29年度での内訳を見ると、「身体的虐待」・「ネグレクト(育児放棄)」・「性的虐待」など深刻な状態が51.1%と半数以上にも及んでいます。

このように八王子児童相談所を取巻く環境は多忙をきわめる状況となっています。

■八王子児童相談所と日野市子供家庭支援センターとの連携



日野市立子ども家庭支援センター

日野市立子ども家庭支援センター(東京都日野市高幡1009-4)は、児童相談の第一義的窓口として、専門性の高い困難事例の対応窓口である児童相談所とともに、児童虐待に対して連携して取り組んでいます。例えば、児童虐待が認められるものの在宅での支援が適当と判断される家庭や、児童虐待により児童相談所が一時保護または施設措置等を行った児童が家庭復帰した後の家庭への支援など、地域に身近な相談窓口として、児童相談所とともに児童虐待の早期発見と再発防止に努めています。



6月議会にて補正予算 2億 3,675 万円が成立！ そのなかから注目の事業を紹介します

日野市議会 第2 回定例会（6月議会）にて2億 3,672万 4千円の補正予算が成立し、一般会計の総額は694億 2,492万 7千円となりました。なかには政府が進める10月からの幼児教育・保育の無償化への準備も含まれています。また、市税条例の一部が改正され住宅ローン控除期間の特例の創設や、その他にもふるさと納税の見直しがなされ、「寄付金の募集を適正に実施すること」「返礼品の返礼割合を3割以下とすること」「返礼品を地場産品とすること」となりました。

子育て支援をさらに推進！— 幼児教育無償化・各種手当

■ 幼児教育無償化事務経費 4,470.4 万円

少子化対策の観点から、子育てや教育に費用がかかる費用負担の軽減を図るため、令和元年10月1日から3歳から5歳児クラスの全世帯及び住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスの幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設等を利用する子どもたちの保育料が無償化されます。



■ 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金 245 万円

令和元年度に限り、令和元年11月分の児童扶養手当を受給される方で、未婚の方に、「未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金」が給付されます。

■ 風しん追加対策クーポン券等作成業務 152.6 万円

流行している風しんへの対策として、風しん追加対策クーポン券等を作成し助成します。

安心・安全の街づくり、健康長寿の街づくりを推進！



■ 急傾斜地崩壊対策事業 1,771 万円

日野市では、ゲリラ豪雨など近年の異常気象による土砂災害などの危険なエリアを示す「土砂災害ハザードマップ」が作成されています。急傾斜地の崩壊対策のため、まずは八王子市との市境に崖地が集中している平山6丁目地区の測量を行います。



平山6丁目急傾斜地

■ 多摩川右岸トイレ整備工事 2,236.3 万円

歩きたくなる街づくりのため、浅川・多摩川の遊歩道へのトイレの設置をさらに進め、今年度は多摩川右岸に整備します。（本年度は日野橋付近に設置予定！）



20号バイパス下資材置場予定地

■ 万願寺二丁目資材置場整備工事 6,124.1 万円

国道20号バイパス高架下を災害時使用する資材置場として整備します。また、ここへ続く多摩川堤通りからの道路を市道とします。

日野市が東京五輪ウクライナ空手競技チームのホスト国に！

■ 東京2020オリンピック・パラリンピック準備経費 1,261.9 万円

ウクライナ空手競技チームの2019事前キャンプの受け入れが決定したことから、日野市は東京2020オリンピック競技大会ウクライナ空手競技チームホストタウンに決定しました。今後は、ホストタウンとして事前キャンプ実施の支援を行うとともに、文化交流を通じた交流事業を実施します。（ウクライナ国旗の、青色は空、黄色は小麦を表現しています。）



（ウクライナ国旗）